

『福に富む郷 竹仁』会報



【景観・環境部会】【竹仁女性部】

11月7日 8時半の早朝より、部会員と、女性部の有志が7種類のチューリップの球根を、約1000個植え付けしました！

『花の小径』のチューリップは、毎年恒例になってきており、花が終わった後は、球根を地域に持ち帰って、毎年花の輪を広げていっています。

来年の春が待ち遠しいですね♪

今年も植えました 



【生活・サロン・交通部会】11月10日で、全3回「あんしんサポートリーダー研修」が終了しました。沖本部長は3回、地域サロンと部会員の方など11名の皆さんも、広島市の社会福祉協議会会館で丸1日研修を受けました。

近所でのお茶の間サロンづくりからお互いさまの活動へ

近所のお茶の間とは、近くて少し遠かったご近所さんがここで出会うと、顔見知りから顔なじみになる。お互いに気かけ合う。ちょっとした困りごととも言い合える。そして、みんなで何とかしようとする。

そんな「ここに行けば何とかなる！」場所にいつ行っても会いたい人がいる、まさしく地域のお茶の間のような“ふれあいサロン”の実現に向けての「リーダー研修」でした。



【健康・福祉部会】【竹仁女性部】11月22日 AED講習会を開催致しました。詳細は次回御報告致します！

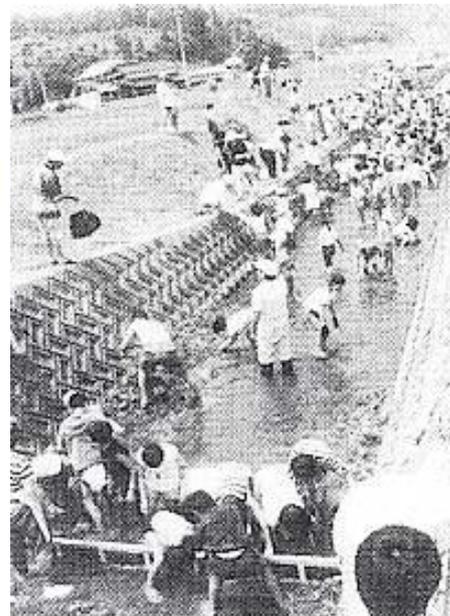
【防犯・防災部会】“守るのは あなたのカギ掛け ころろがけ” 年末近くなると、特に空き巣や泥棒が増えます。警察・消防と連携を取りながら、部会では見守り活動を行っています。

御存知でした？

『「今年は七回目の魚塚祭で、魚塚を建てられた桜河内士朗先生の三回忌でもあります……」。

7月19日正午、魚塚の前で佐々木確魚塚保存会長の挨拶が終わると、20人余の子供達は大鯉を入れた水槽のミコシと共に、梅雨で増水した沼田川の替わりに魚つかみ取り場となった支流の包丁川へ。沼田川との合流地点から百メートルほど上流までを幼少・小高学年・一般と三ブロックに分け、その境は川幅約3メートルに網など張り、アユ700匹、ウナギ250匹に夜店用稚鯉も数多く放流してある。

「魚塚祭は他への宣伝はせん。ゴミや車の排ガスなど無責任な観光客お断り」と世話役の一人。やがて合図の笛で百人余の大人や子供が一斉に川の中。「孫が魚塚祭には街から戻る。わしらが遊んだ沼田川と遊ぶ孫の姿はたまらんよのう。つかみ取りも半分以上の魚を逃がすのが目的」と笑う老人は、川の中の孫に小さなバケツを渡してやった。…以下省略』 (毎日新聞 1992.8.13)



3Mi一体竹仁のEco家族



11月12日 各地域や女性会の皆さんにご参加頂き、学習会を開催致しました。

地域センターから、宮郷の集会所裏手にある「魚塚」まで、川岸を歩きながら故郷である竹仁について考えました。センターに戻り意見交換をした後、女性陣 心づくしの「竹仁鍋」とおにぎりを頂きました。

魚塚は、少年時代をこの川で過ごした桜河内 士朗氏が、ふるさとの川の汚染や水生生物の減少を目の当たりにし、人と自然の共生を願って昭和60年に建立したもの。

「… 今、病む川を前にして声なきものの哀れさがひしひし胸をえぐります。少年の日をこの川の釣りにつかれた私は、その思い出も今更に有縁の糸の引くがまま、ここに改めねんごろに魚霊をまつり、冥福を祈るとともに再来の願いをこめて水神に碑を手向けます。…」



山里の川辺に「魚塚」が建つのは、日本で竹仁だけだそうです。

「竹仁鍋」に食材をご提供頂いた皆様前日からご協力下さった女性の皆様、ありがとうございました！